

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 コベルプラスジュニア浦和教室

公表日 令和6年10月1日

利用児童数

80

回収数

35

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	2			職員のスキルにややバラつきがあるように感じる	コベル本部で開催される研修や、さいたま市で開催される専門研修に参加をすることで、知識をアップデートしながら多角的支援アプローチを学び続けたいと思います。また、スタッフ間でも互いの療育を見学して意見交換を行ったり、療育プログラムの立案をチームで実施する事で指導員同士のスキルアップも行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34			1	部屋番号を表示するなど、子どもにとって分かりやすくなっている	部屋番号についてお子様に分かりやすくご案内できているとの事、ご意見ありがとうございます。イベント開催のチラシは子どもたちにも分かりやすいように写真を載せるようにしたり、出勤スタッフを貼り出すことも昨年から実施しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35				いつもリラックスして登室できています	室内の清掃は朝一番に実施し、気持ちよく皆様にお使いいただけるように努めています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	3			指導員により差がある	②の解答をご参照ください。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31	2		2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	32			3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	3		1	いつも少なくとも一つは苦手な課題が組み込まれている	子どもたちが「楽しい！」と感じながら自ら学ぶ気持ちを引き出せるよう、療育プログラムを担当指導員が考えて作成しております。苦手な事へのフォローと得意な事を更に伸ばす支援を大切にしています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	4		1	プログラムが汎山あり、飽きずに参加できているようです・フィードバックの時に保護者の意見を吸い上げ、反映できている	コベル本部から毎月教材が届き、また次の月には新しい教材が届くシステムとなっております。教室に届く教材だけではなく、指導員が独自で考えた教材を使うこともあり、常に目の前の子どものことを第一に考えてプログラムを作成しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		31	1		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1		2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	7	3	5	始めたばかりでまだ参加していない・「家族等も参加できる研修会」が何を示すか不明である・研修会や懇談会の通知を掲示板で拝見したことがある気がするが、ペアレントトレーニングがあったかどうか不明	ペアレントトレーニングは昨年度に毎月実施をしておりました。今年度は実施に至っておりません。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	32	2	1		ion2での指導で、先生はローテーションするので、どのように情報共有されているか開示して頂けるとより安心できます・こちらからお願いに耳を傾けて頂き、支援して頂けています	近々発行するジュニア通信にて、児童の情報共有の方法についてご紹介をさせていただきます
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3	1		トレーニングの後に振り返りで個別になったので相談しやすくなりました・隔週のフィードバックが妥当・いつもとても丁寧に助言いただけます	今年の4月より個別フィードバックを実施しております。より深くお子様のことを保護者の皆様と話し合い、寄り添いたいという気持ちから今の形式になりました。その分、フィードバックが隔週になってしまい回数が昨年度よりも減りました。個別面談をいつでも実施しておりますので、お声掛けください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	4	1		とても励みになっています・いつもありがとうございます	お子様にも保護者様にも寄り添い、仲間であり味方のような存在でありたいと思っています。今度ともよろしく願っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	6	9	13	保護者同士の交流会があったのか分からないが、集団療育の時に他の保護者さんとお話できる機会がありました・保護者会があったら参加してみたい・兄弟がいないのでよくわかりません・兄弟がいないのでわかりません・夏祭りを楽しみにしています・同じ学校の保護者が集まって情報交換をする場があれば参加したい	保護者会の実施については今後検討をさせていただきます。ごきょうだいの楽しめるイベントを開催し、家族支援を行う事も事業所の役目であると感じています。MISHIMA夏祭りや日々のコミュニティなどは是非ごきょうだいもご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	6	1	6	「いつでも相談してください」といつも言っています・相談窓口？	相談窓口の担当者「齋藤和明」、解決責任者「黒須友季」と決まっておりますが、いつでもどのスタッフでも構いませんのでお気軽にご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	4			LINE通知があり・TELすれば誰かしら対応してください	LINEの配信、教室でのチラシの掲示にて情報伝達を行って参りましたが、昨年度より「ジュニア通信」を毎月発行させて頂いております
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	5		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	3		3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	2	2	5	以前は説明が有りましたが、最近説明された記憶がないです	各種マニュアルの保管場所について、保護者様がいつでも閲覧できるように分かりやすく変更いたします
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	4	4	10	何度か避難訓練をしたことがありました	イベント療育時に避難訓練を実施する事が多いので、引き続きご協力のほどよろしくお願い致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2	1	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	4	2	11	今まで経験したことがないのでわかりません・機会がありません	保護者様が常に見学をして下さっていることもあり、大きな怪我には繋がらず運営をすることができております。小さな怪我でも何かお子様が不調を訴えている時には必ずご説明とご報告をさせていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	1			認められる場所という安心感が強く、楽しみにしています	4月以降、スタッフの休職や退職、人事異動などで皆様にはご迷惑をお掛けしております。どのスタッフもお子様のことを第一に考え、将来生きていく上で必要なスキルの獲得だけではなく、心温かな子に育ってほしいという徳育の視点も大切に支援を行っております。ジュニア浦和教室が子ども達や保護者の皆様にとって、安心できる心の拠り所となれるよう、向き合い続けていきますので、今後ともよろしく願っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	32	2	1		安心して楽しく通わせて頂いています・自己肯定感も高めていただけてとても感謝しています・集団に変わったことで友達と学習できている楽しさもあるようです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	6			多動で注意力も散漫で聞いているかな？と思う事が多いが、日常会話でこれはコベルで教わったと話す事が多く、身に付いているのだなと感謝しています	